第46回（令和3年度）
関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会

令和3年6月～ 7月25日･31日

優　勝　豊上ジュニアーズ
準優勝　野菊野ファイターズ
第三位　東深井ボーイズ
第四位　伊勢原ジャガーズ



主　催　東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会
協　賛　関宿ライオンズクラブ
　　柏市･流山市･野田市･松戸市　各少年野球連盟
後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画
　　朝日スポーツキッズ



河井運輸株式会社　カワイコーポレーション有限会社
河井倉庫株式会社 河井石油株式会社

これまでの60年　これからの60年も　地元と共に

〒270-0225　千葉県野田市平井257-2　TEL:04-7198-6973　FAX:04-7198-6974

河井グループ　検索

【東葛地区親睦少年野球夏季大会 協賛】

ライオンズクラブ国際協会
333C地区2R－2Z
関宿ライオンズクラブ
第35代会長　河井哲弥

青少年の未来を応援します！

Lions Clubs International

関宿ライオンズクラブ事務局
〒270-0226　千葉県野田市東宝珠花442-1　TEL:04-7128-4884　FAX:04-7128-4984

第46回　関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会

目　　次

新優勝旗及び優勝盃（写真）…… 1

第４６回　関宿ライオンズクラブ旗争奪

　東葛地区親睦少年野球夏季大会決勝大会成績表 …… 2

　決勝大会概評 …… 3

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ベスト４チーム（写真）…… 5

大会スナップ写真 …… 7

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

第４６回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会

　ブロックリーグ戦成績表…… 33

　ブロックリーグ戦概評 …… 39

東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4 …… 40

第４６回 関宿ライオンズクラブ旗争奪

　東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム …… 41

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ …… 42

東葛地区親睦少年野球大会開催要項（令和元年６月一部改正）…… 43
東葛地区親睦少年野球大会　役員名簿（令和3年8月改選）…… 45
第46回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会会計報告 …… 46

＊写真提供は共同写真企画及びＭＥＲ企画



関宿ライオンズクラブ寄贈の新優勝旗



新賞品群



第４６回
関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会
決勝大会成績表

開催月日 | 7月25日 | 7月25日 | 7月31日 |

松　戸	小金原ビクトリー	2					
流　山	東深井ボーイズ	7					
			3				
			6				
流　山	カージナルス						
		2					
		6					
松　戸	野菊野ファイターズ						
					0		
					3		
松　戸	伊勢原ジャガーズ						
		4					
		3					
流　山	向小金ファイターズ						
			0				
			7				
流　山	八木南クラブ						
		2					
		13					
柏	豊上ジュニアーズ						

優勝
豊上ジュニアーズ

三位決定戦

東深井ボーイズ	5
伊勢原ジャガーズ	0

☆大会概評☆

豊上ジュニアーズが貫禄の優勝

準優勝は野菊野フアイターズ　三位東深井ボーイズ

総数４１チームが参加した令和３年度の東葛地区親睦少年野球夏季大会は、令和２年度から採用した参加チームを８ブロックに分けてリーグ戦を行い、そのうちの１位８チームによって令和３年７月２５日(日)と７月３１日（土）にトーナメント制で決勝大会が行われた。この結果、決勝戦に進出したのは柏市の豊上ジュニアーズと松戸市の野菊野ファィターズの両チームで、この対決は豊上ジュニァーズが完封勝利して貫禄の優勝を飾った。

ブロックリーグ戦は抽選会が終了した後の６月から７月２４日(日)まで行われ、それぞれの１位チームを決定したが、今年度はこの期間中雨による中止が４日もあり、当初のリーグ戦終了予定日の７月１８日をオーバーしたブロックが出てしまった。なお、ブロックリーグ戦については、別頁に記載した。

決勝大会初日の７月２５日は、ブロック１位の８チームが揃って開会式を行った後、野田河川敷グランドのＣ、Ｄ面で １ 回戦と２回戦(準決勝戦)が行なわれ、二日目の７月３１日（日）は三位決定戦と決勝戦を流山運動公園球場で開催した。

決勝大会を振り返ると、初日の７月２５日（日）は野田河川敷グランドのＣ面とＤ面で各 3 試合ずつの６試合を行った。そのうちの第一試合はＣ面が小金原ビクトリーvs 東深井ボーイズ戦、Ｄ面は伊勢原ジャガーズ vs 向小金ファイターズ戦で、Ｃ面は東深井ボーイズが大勝、Ｄ面は伊勢原ジャガーズが１点差の接戦を制して勝利した。続く第二試合は、Ｃ面がカージナルス vs 野菊野フィターズ戦、Ｄ面は八木南クラブ vs 豊上ジュニアーズ戦が行われたが、野菊野ファィターズと豊上ジュニアーズが大勝してそれぞれ準決勝戦に駒を進めた。

なお、準決勝戦はこの日各面で行われた一回戦の勝者同士がダブルで対戦、Ｃ面は東深井ボーイズ vs 野菊野ファイターズ戦､Ｄ面は伊勢原ジャガーズ vs 豊上ジュニアーズの柏勢対決となった。この２試合は、東深井ボーイズ vs 野菊野ファイターズ戦が初回から点の取り合いとなって接戦を展開した末、野菊野ファイターズが勝利したのに対し、伊勢原ジャガーズ vs 豊上ジュニアーズ戦は、豊上ジュニアーズのワンサイドケームとなってコールド勝ちに終わった。

かくして大会の最終日７月３１日（土）は、流山運動公園球場に於いて三位決定戦と決勝戦が行われた。決勝戦に先駆けて行われた東深井ボーイズ vs 伊勢原ジャズの三位決定戦は、前半の３回までは両チーム譲らず、０－０で互角の展開だったが、４回以降東深井ボーイズが毎回得点を重ねて伊勢原ジャガーズを圧倒５－０で完封勝ちを飾った。

野菊野ファイターズ vs 豊上ジュニァーズの決勝戦も､前半の３回までは両チーム得点無く互角の展開だった。しかし、走者は出すがホームが遠い野菊野ファイターズの攻撃に対し、豊上ジュニアーズが４回に１点を挙げてから、試合が動き出した。結果は６回に豊上ジュニアーズが決定的な２点を追加して勝負を決めたが、このあたりはさすが歴戦の強者の貫禄だ。

ちなみに、豊上ジュニァーズが挙げた６回の得点は、この回の先頭打者の１番福井が三塁打を放って出塁した後、２番畠山のタイムリー安打で挙げ、さらに一死三塁から内野ゴロでソツ

なく追加したもので、これは４回に内野ゴロで挙げた得点とともに見事だった。

なお、試合終了後の閉会式では、今年度から協賛に加わった関宿ライオンズクラブから新たに大優勝旗と数多くの賞品の贈呈があり、ベスト４チームに進呈された。贈呈を受けた賞品群の中には個人賞もあり、最優秀選手賞は優勝した豊上ジュニアーズの畠山 響選手に、優秀選手賞が野菊野ファイターズの小川敦士選手と、東深井ボーイズの小西悠生選手、伊勢原ジャガーズの村井蒼太選手に、それぞれ関宿ライオンズクラブ河井徹弥会長から贈呈された。

以下は準決勝戦からの成績。

★準決勝戦　７月２５日（日）　野田河川敷グランドＣ面

東深井ボーイズ	２	０	０	０	１	０	＝	３
野菊野ファイターズ	４	０	１	１	０	Ｘ	＝	６

▽審判：球審・青柳（カージナルス）塁審・内山（大会役員）細野（カージナルス）、島田（小金原ビクトリー）

★準決勝戦　７月２５日（日）　野田河川敷グランドＤ面

伊勢原ジャガーズ	０	０	０	０	０		＝	０
豊上ジュニアーズ	１	５	０	１	Ｘ		＝	７

▽審判：球審・清原（向小金ファイターズ）　塁審・細山（八木南クラブ）太田（向小金フイターズ）、小野寺（八木南クラブ）

★三位決定戦　７月３１日（日）　流山運動公園球場

伊勢原ジャガーズ	０	０	０	０	０	０	＝	０
東深井ボーイズ	０	０	０	１	２	２	＝	５

▽審判：球審・西ケ迫（大会役員）　塁審：花浦（松戸市少年野球連盟）染谷（流山市少年野球連盟）、由木（松戸市少年野球連盟）

★決勝戦　７月３１日（日）　流山運動公園球場

野菊野ファイターズ	０	０	０	０	０	０	＝	０
豊上ジュニアーズ	０	０	０	１	０	２	＝	３

▽審判：球審・米倉（柏市少年野球連盟）　塁審：高月（東深井ボーイズ）、小田部（大会役員）、椎名（伊勢原ジャガーズ）



2021 CHAMPION



優勝　豊上ジュニアーズ



準優勝　野菊野ファイターズ



第三位　東深井ボーイズ



第四位　伊勢原ジャガーズ



整列する決勝大会出場チーム





開会式

於：野田河川敷グランド



挨拶する関宿ライオンズクラブ河井会長





山田会長

前年度優勝チームから
優勝旗と優勝盃の返還



来賓祝辞



齋藤 衆議院議員





鈴木 野田市長





木名瀬 千葉県議会 議員





熱戦









ブロックリーグ戦

スナップ!












Cardinal

























決戦大会

熱戦スナップ






























7



































優勝

豊上ジュニアーズ







於　流山運動公園球場

令和三年三月七日





関宿ライオンズクラブ
河井会長



閉会式



受賞スナップ





閉会式の進行役を勤める







山田会長





準優勝

野菊野ファイターズ













第三位

東深井ボーイズ







第四位

伊勢原ジャガーズ











今大会に多大な協力をしてして下さった関宿ライオンズクラブの皆さん





従来からの大会優勝旗及びカップ＆トロフィ



東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

A ブロック

7／23終了

順位		小金原ビクトリー	前ヶ崎クラブ	北柏スーパーナイン	長崎FLB	野田ドンキーズ	松葉ニューセラミックス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	小金原ビクトリー（松戸）		○ 18−3	○ 4−3	○ 5−4	○ 9−4	○ 18−1	5	5	0	0	10	54	15	39
2	前ヶ崎クラブ（流山）	● 3−18		○ 6−3	○ 8−3	○ 12−2	○ 6−3	5	4	1	0	8	35	29	6
3	北柏スーパーナイン（柏）	● 3−4	● 3−6		○ 7−3	○ 7−5	○ 11−2	5	3	2	0	6	31	20	11
4	長崎FLB（流山）	● 4−5	● 3−8	● 3−7		○ 10−2	△ 7−7	5	1	3	1	3	27	29	△2
5	野田ドンキーズ（野田）	● 4−9	● 2−12	● 5−7	● 2−10		○ 9−5	5	1	4	0	2	22	43	△21
6	松葉ニューセラミックス（柏）	● 1−18	● 3−6	● 2−11	△ 7−7	● 5−9		5	0	4	1	1	18	51	△33

B ブロック

残り試合1

順位		東深井ボーイズ	リトルベアーズ	流山ホークス	増尾レッドスターズ	西新田子ども会	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	東深井ボーイズ（流山）		○ 8−2	△ 3−3	○ 6−1	○ 10−7	4	3	0	1	7	27	13	14
2	リトルベアーズ（松戸）	● 2−8		△ 6−6	○ 10−5	○ 9−2	4	2	1	1	5	27	21	6
3	流山ホークス（流山）	△ 3−3	△ 6−6		○ 8−2		3	2	0	2	4	17	11	6
4	増尾レッドスターズ（柏）	● 1−6	● 5−10	● 2−8		○ 5−2	4	1	3	0	2	13	26	△13
5	西新田子ども会（野田）	● 7−10	● 2−9		● 2−5		3	0	3	0	0	11	24	△13

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

C ブロック

7/24終了

順位		カージナルス	友和タイガース	柳沢ロッキーズ	流山シャークス	加賀シャトルズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	カージナルス（流山）		○ 5−2	○ 15−0	○ 17−0	○ 21−4	4	4	0	0	8	58	6	52
2	友和タイガース（三郷）	● 2−5		○ 8−4	○ 9−5	○ 15−3	4	3	1	0	6	34	17	17
3	柳沢ロッキーズ（野田）	● 0−15	● 4−8		○ 11−9	○ 19−3	4	2	2	0	4	34	35	△1
4	流山シャークス（流山）	● 0−17	● 5−9	● 9−11		○ 10−6	4	1	3	0	2	24	43	△19
5	加賀シャトルズ（柏）	● 4−21	● 3−15	● 3−19	● 6−10		4	0	4	0	0	16	65	△49

D ブロック

7／17終了

順位		野菊野ファイターズ	加岸ベァーズ	光ヶ丘シャークス	初石クーガーズ	久寺家エラーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野菊野ファイターズ（松戸）		○ 9−0	○ 7−3	○ 16−3	○ 19−1	4	4	0	0	8	51	7	44
2	加岸ベァーズ（流山）	● 0−9		○ 5−2	○ 5−4	○ 12−1	4	3	1	0	6	22	16	6
3	光ヶ丘シャークス（柏）	● 3−7	● 2−5		○ 8−5	○ 18−1	4	2	2	0	4	31	18	13
4	初石クーガーズ（流山）	● 3−16	● 4−5	● 5−8		○ 8−4	4	1	3	0	2	20	33	△13
5	久寺家エラーズ（我孫子）	● 1−19	● 1−12	● 1−18	● 4−8		4	0	4	0	0	7	57	△50

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Eブロック

7／18終了

順位		伊勢原ジャガーズ	小田急ライオンズ	松戸スラッガーズ	利根フェニックス	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	伊勢原ジャガーズ（柏）		○ 4−1	○ 10−1	○ 16−0	○ 4−0	4	4	0	0	8	34	2	32
2	小田急ライオンズ（流山）	● 1−4		○ 3−2	○ 11−5	● 7−11	4	2	2	0	4	22	22	0
3	松戸スラッガーズ（松戸）	● 1−10	● 2−3		○ 9−1	○ 12−2	4	2	2	0	4	24	16	8
4	利根フェニックス（利根町）	● 0−16	● 5−11	● 1−9		○ 10−6	4	1	3	0	2	16	42	△26
5	GBC流山（流山）	● 0−4	○ 11−7	● 2−12	● 6−10		4	1	3	0	2	19	33	△14

Fブロック

7/23終了

順位		向小金ファイターズ	鰭ヶ崎Jrフインズ	セントラルパークス	野田ブレーブス中地	豊四季イーグルス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	向小金ファイターズ（流山）		○ 17−3	○ 8−7	○ 5−0	○ 12−8	4	4	0	0	8	42	18	24
2	鰭ヶ崎Jrフインズ（流山）	● 3−17		○ 10−2	○ 4−3	● 3−12	4	2	2	0	4	20	34	△14
3	セントラルパークス（松戸）	● 7−8	● 2−10		○ 10−2	○ 6−3	4	2	2	0	4	25	23	2
4	野田ブレーブス中地（野田）	● 0−5	● 3−4	● 2−10		○ 8−5	4	1	3	0	2	13	24	△11
5	豊四季イーグルス（柏）	● 8−12	○ 12−3	● 3−6	● 5−8		4	1	3	0	2	28	29	△1

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Gブロック

7／24終了

順位		八木南クラブ	平川レッドスターズ	ありんこアントス	野田ジャガーズ	トライスター	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	八木南クラブ（流山）		○ 9−1	○ 11−1	○ 22−0	○ 18−0	4	4	0	0	8	60	2	58
2	平川レッドスターズ（市川）	● 1−9		○ 9−2	○ 10−2	○ 8−2	4	3	1	0	6	28	15	13
3	ありんこアントス（流山）	● 1−11	● 2−9		○ 12−7	○ 11−1	4	2	2	0	4	26	28	△2
4	野田ジャガーズ（野田）	● 0−22	● 2−10	● 7−12		○ 11−8	4	1	3	0	2	20	52	△32
5	トライスター（柏）	● 0−18	● 2−8	● 1−11	● 8−11		4	0	4	0	0	11	48	△37

Hブロック

7／25終了

順位		豊上ジュニアーズ	江戸川台フェニックス	柏ボーイング	南流ファイターズ	上町・中根合同	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズ（柏）		○ 18−3	○ 15−3	○ 31−1	○ 25−2	4	4	0	0	8	89	9	80
2	江戸川台フェニックス（流山）	● 3−18		○ 8−6	○ 18−7	○ 20−1	4	3	1	0	6	49	32	17
3	柏ボーイング（柏）	● 3−15	● 6−8		○ 8−7	○ 9−2	4	2	2	0	4	26	32	△6
4	南流ファイターズ（流山）	● 1−31	● 7−18	● 7−8		○ 11−3	4	1	3	0	2	36	60	△24
5	上町・中根合同（野田）	● 2−25	● 1−20	● 2−9	● 3−11		4	0	4	0	0	8	65	△57

☆★ ブロックリーグ戦概評 ★☆

◆Aブロック

中盤まで北柏スーパーナインと小金原ビクトリーがともに3勝0敗で首位だったが、7月17日に北柏スーパーナインが小金原ビクトリーと前ヶ崎クラブに敗れて2敗となり脱落。北柏スーパーナインに勝った小金原ビクトリーが4勝0敗となって、最終戦を待たずに首位を確定させた。なお、このブロックのみ6チーム編成。

前ヶ崎クラブは最終的に4勝1敗の成績で2位となったものの、小金原ビクトリーに敗れたのが致命傷となった。

◆Bブロック

最終的に3勝0敗1引分けの東深井ボーイズが、2勝0敗2引分けの流山ホークスを振り切って首位を決めた。流山ホークスは東深井ボーイズとは引き分けて結果的には無敗も、リトルベァーズとも引き分けたため勝ち星一つの差で、東深井ボーイズに及ばなかった。

流山ホークスは、西新田子ども会戦が両チームの都合でリーグ戦の消化期限内で試合が出来なかったことで、この時点で東深井ボーイズの首位が楽に決まった。

なお,未消化の試合は、本来は大会終了後の9月中に行う予定だったが、新コロナウイルスの緊急蔓延防止施策により9月中は活動が出来なくなった関係で、10月に改めて「消化試合」として行なうこととした。

2位となったリトルベァーズは、流山ホークスとは引き分けたものの、東深井ボーイズに勝てば首位のチャンスがあっただけに、完敗して夢破れた。

◆Cブロック

全ブロックリーグ戦で最も消化が遅れたブロック。カージナルスと友和タイガースが中盤の7月17日までともに2勝0敗で首位を並走していいたが、7月22日の直接対決でカージナルスが友和タイガースに勝利したことと、同日の2試合目に加賀シャトルズにも勝利したことで、4戦全勝となり首位を決めた。

ちなみに、首位カージナルスがリーグ戦4試合で挙げた得点58点（1試合平均14．5点）総失点6点(1試合平均1．5点)，得失点差52点はリーグ戦全体では3番目の記録。

このブロックはカージナルスと友和タイガースのマッチレースで終わった感じで、内容的には以下の3チームは実力的に開きがありすぎた。

◆Dブロック

野菊野ファイターズの独走で、その成績４勝０敗は、４試合での総得点が５１点（１試合平均１２．８点）と、総失点７点（１試合平均１，７５点)、得失点差４４点が示す如く実力が突出していたことを物語っている。ちなみに、総得点５１点はリーグ戦全体では５番目に多い記録で、総失点７点は４番目に少ない記録。

第二グループの加岸ベァーズ（３勝１敗)、光ヶ丘シュークス（２勝２敗）は、善戦はしたものの、首位の野菊野ファイターズとはちょっと実力の差があった。

◆Eブロック

攻守に安定した実力を発揮した伊勢原ジャガーズが、４戦全勝で首位を確保した。同チームはとくにデフェンス力（４試合での総失点２点）の良さが印象に残った。

このブロックは５チームの実力が割合拮抗していて激戦を展開したが、２位以下は星の潰しあいが激しく、リーグ戦の中では最も活気があった。とくに松戸スラッガーズと小田急ライオンズはともに譲らず大接戦を展開して、２勝２敗の同成績となった。この結果、最終順位は最下位となったＧＢＣ流山に星を落とした小田急ライオンズが、松戸スラッガーズに勝利しているため上位となった。

◆Ｆブロック

このブロックも激戦を展開した。最終的に向小金ファイターズが４戦全勝で首位となったものの、実力的には他の４チームとはそれほどの差がなかった。

全チームによる星の潰しあいが激しく、最終的に２勝２敗で２位となった鰭ヶ崎ジュニアフインズと３位のセントラルパークスは同成績で、順位は直接対決による結果で決定された。

これは１勝３敗で同成績となった豊四季イーグルスと野田ブレーブス中地にも言えることで、全チームが一つの勝ち星巡って活気ある戦いを見せた。

その中で首位となった向小金ファイターズは、セントラルパークスと豊四季イーグルス戦の２試合を、接戦で手堅くモノにしたのが良かった。

◆Ｇブロック

八木南クラブと平川レッドスターズの実力が抜けていて、首位争いは実質的にはこの２チームの対決に絞られた。中盤までこの２チームがともに２勝０敗で並走していたが、７月１７日の直接対決で八木南クラブが勝って３勝０敗となり、さらに最終戦にも勝利して４戦全勝で首位を確保した。

ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点６０点（１試合平均１５点）は、Hブロックの豊上ジュニアーズの８０点に次ぐ２番目に多い記録で、得失点差５８点も同じくリーグ戦全体で２番目に多い記録。さらに失点２点（1 試合平均０．５点）はEブロックの伊勢原ジャガーズと並ぶリーグ戦の最少記録。

２位となった平川レッドスターズは，この日ありんこアントスに勝利して最終的に３勝１敗の成績を残したものの、結局八木南クラブ戦の敗戦が響いて決勝大会進出は出来なかった。

◆Hブロック

豊上ジュニアーズの実力が飛びぬけていて、４戦全勝で文句なしの首位を飾った。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点は、何と８９点(１試合平均２２．２点)で、得失点差８０点はリーグ戦全体でのNO．１記録。また、総失点９点(２．２５点)はリーグ戦全体では４番目に少ない記録。攻守ともに驚異的な数字は、下馬評通り実力面でもリーグ全体でのNO．１を充分に証明している。

２位江戸川台フェニックス以下は、勝ち星の差順に順位が決定したが、このブロックは各チームとも実力はそこそこながら、結局首位となった豊上ジュユアーズの引き立て役に終わってしまった。



東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4

回数	開催年度	出場チーム	優勝	準優勝	第三位	第四位
1	1976 昭和51年	14	流山シャークス（流山）	ブラックバード（我孫子）	松ヶ丘（流山）	流山バード（流山）
2	1977 昭和52年	16	沼南ジャリーズ（沼南）	流山シャークス（流山）	高柳サンダース（沼南）	南部イーグルス（沼南）
3	1978 昭和53年	36	トライスター（柏）	四小レンジャーズ（柏）	沼南ロビンス（沼南）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
4	1979 昭和54年	48	北柏スーパーナイン（柏）	沼南イーグルス（沼南）	四小レンジャーズ（柏）	加台ボンバーズ（流山）
5	1980 昭和55年	34	トライスター（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	北柏スーパーナイン（柏）
6	1981 昭和56年	40	トライスター（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	リトルジャガーズ（我孫子）	リアノス（柏）
7	1982 昭和57年	46	沼南イーグルス（沼南）	四季野はやぶさ（流山）	リアノス（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）
8	1983 昭和58年	47	リトルジャガーズ（我孫子）	トライスター（柏）	豊四季イーグルス（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
9	1984 昭和59年	61	Aブロック 布施リトルジャイアンツ（柏）	中新宿ウイングス（柏）	トライスター（柏）	千代田ファイターズ（柏）
			Bブロック 松葉ニューセラミックス（柏）	流山シャークス（流山）	カージナルス（流山）	平井ビクトリー（沼南友軍・東京）
10	1985 昭和60年	62	リトルキング（我孫子）	四小地区少年野球クラブ（柏）	大津ヶ丘ファイターズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
11	1986 昭和61年	46	高野台ジャガーズ（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）	沼南ジャリーズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
12	1987 昭和62年	48	トライスター（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏友ジャニーズ（柏）	リアノス（柏）
13	1988 昭和63年	48	柏友ジャニーズ（柏）	江戸川台アトラス（流山）	野田ヤンキース（野田）	トライスター（柏）
14	1989 平成元年	47	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	トライスター（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
15	1990 平成2年	60	柏ヤンガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	豊四季イーグルス（柏）
16	1991 平成3年	55	高野台ジャガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏ヤンガーズ（柏）
17	1992 平成4年	51	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）
18	1993 平成5年	56	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	トライスター（柏）
19	1994 平成6年	58	名戸ヶ谷アトミック（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	ありんこアントス（流山）	リトルベアーズ（松戸）
20	1995 平成7年	50	南部少年野球クラブ（鎌ヶ谷）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	リトルベアーズ（松戸）	フェニックス（鎌ヶ谷）
21	1996 平成8年	46	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	流南ベアーズ（流山）
22	1997 平成9年	42	清水タイガース（野田）	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	小金原ビクトリー（松戸）
23	1998 平成10年	42	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズA（流山）
24	1999 平成11年	42	牧の原ジュニアーズ（松戸）	西原アローズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	泉ライオンズ（流山）
25	2000 平成12年	32	初石クーガーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	リトルベアーズ（松戸）
26	2001 平成13年	38	松葉ニューセラミックス（柏）	加岸ベアーズ（流山）	前ヶ崎クラブ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
27	2002 平成14年	33	初石クーガーズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	南流ファイターズ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
28	2003 平成15年	50	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	東部フェニックス（野田）	清水タイガース（野田）
29	2004 平成16年	50	初石クーガーズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
30	2005 平成17年	31	初石クーガーズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	新栄ファイヤーズ（柏）
31	2006 平成18年	46	ヤングスターズ（松戸）	久寺家エラーズ（我孫子）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
32	2007 平成19年	35	大津ヶ丘ファイターズ（柏）	小田急ライオンズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	串崎スワローズ（松戸）
33	2008 平成20年	34	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）
34	2009 平成21年	30	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）	南流ファイターズ（流山）
35	2010 平成22年	34	高野台ジャガーズ（柏）	高田ウィンスターズ（柏）	ブラックバード（我孫子）	ヤングスターズ（松戸）
36	2011 平成23年	35	加岸ベアーズ（流山）	ヤングスターズ（松戸）	新木ファイターズ（我孫子）	梅郷パワーズ（野田）
37	2012 平成24年	35	小田急ライオンズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
38	2013 平成25年	25	串崎スワローズ（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	東部フェニックス（野田）
39	2014 平成26年	20	セントラルパークス（松戸）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）
40	2015 平成27年	21	カージナルス（流山）	流山ホークス（流山）	セントラルパークス（松戸）	高田ウィンスターズ（柏）

回数	開催年度	出場チーム	優　勝	準　優　勝	第　三　位	第　四　位
41	2016 平成28年	15	セントラルパークス (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)	北柏スーパーナイン (柏)	野田ジャガーズ (野田)
42	2017 平成29年	20	セントラルパークス (松戸)	吉川ドリームス (吉川)	リトルイーグルス (我孫子)	ブラックバード (我孫子)
43	2018 平成30年	12	根木内ヤングスターズ (松戸)	カージナルス (流山)	吉川ドリームス (吉川) 南流ファイターズ (流山)	
44	2019 令和元年	33	流山ホークス (流山)	東深井ボーイズ (流山)	野菊野ファイターズ (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)
45	2020 令和2年		開　催　中　止			
46	2021 令和3年	51	豊上ジュニアーズ (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	東深井ボーイズ (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)

※第43回大会は、日程の都合上3位決定戦は行わず、2チーム同成績となりました。

第46回関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名

★流山地区⑯

- 前ヶ崎クラブ
- 長崎ＦＬＢ
- 東深井ボーイズ
- 流山ホークス
- カージナルス
- 流山シャークス
- 加岸ベァーズ
- 初石クーガーズ
- 小田急ライオンズ
- 向小金ファイターズ
- 鰭ヶ崎ジュニアフインズ
- 八木南クラブ
- ありんこアントス
- 江戸川台フェニックス
- 南流ファイターズ
- ＧＢＣ流山

★利根町地区①

- 利根フェニックス

★柏地区⑩

- 北柏スーパーナイン
- 松葉ニューセラミックス
- 増尾レッドスターズ
- 光ヶ丘シャークス
- 伊勢原ジャガーズ
- 豊四季イーグルス
- トライスター
- 豊上ジュニアーズ
- 柏ボーイング
- 加賀シャトルズ

★我孫子地区①

- 久寺家エラーズ

★三郷地区①

- 友和タイガース

★野田地区⑥

- 野田トンキーズ
- 西新田子ども会
- 柳沢ロキーズ
- 野田ブレーブス中地
- 野田ジャガーズ
- 上町・中根合同

★松戸地区⑤

- 小金原ビクトリー
- リトルベァーズ
- 野菊野ファイターズ
- 松戸スラッガーズ
- セントラルパークス

★市川地区①

- 平川レッドスターズ

(注) 地区名後の○内数字は出場チーム数

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降、毎年８月中旬の三日間に実施してきた。グランドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（元カリフ少年野球大会会長で元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和５６年から昭和ゴムが主催しているＳＧ大会と提携して、同社のグランドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年８月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場は６１チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和５７年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、６０年には出場チームの総数が６２に達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、近隣市町からの参加があって規模の拡大をみるとともに、大会は益々隆盛を極めた。

しかし、ここ数年は大会の時期的な問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数３０チーム前後から、平成２５年度以降はさらに減少の一途を辿って来た。なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業、野球サークルなどには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、５５年から５７年までは鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年１２月に開催している冬季大会は、平成５７年から卒業記念大会として６年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会に改め近年定着している。

平成１０年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成１４年から正式に後援に加わった。さらに平成１６年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。

なお、昭和６０年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（ＳＧボール）が、ボールの生産を中止したため、平成１８年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

令和元年から夏季大会のみブロックリーグ戦形式に変更され、開催時期も７月から８月に改められた。さらに令和３年度から夏季大会のみ野田市の関宿ライオンズクラブが正式に協賛に加わったことで、大会名の頭に「関宿ライオンズクラブ旗争奪」が記されることとなった。

東葛地区親睦少年野球大会開催要項（令和２年６月一部改正）

大　会　名　　夏季:関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季:柏シニア杯争奪 東葛飾地区親睦少年野球卒業記念大会

主催・主管　　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会

後　　援　　ダイワマルエス株式会社（マルエスボール）　関宿ライオンズクラブ
柏リトルシニア、流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）流山ロータリークラブ、株式会社共同写真企画　朝日スポーツキッズ

開催期間　　夏季大会　令和元年度より従来のトーナメント制から参加チームを複数に分けて、６月下旬からブロックリーグ戦を行い、首位チームが７月下旬にトーナメント制で決勝大会を行う方式に改正。
冬季大会　全試合トーナメント制で１２月の第一土曜日を初日として１２月中に終了させる。

出場資格　　夏季大会は３年生以上６年生までの単独Ａチーム。冬季大会は全員６年生のみで、単独チームで出場出来ない場合は、５チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで２チームの出場も可。出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。選手のほか介護員(女性２名)のベンチ入りも認められる。

試合方法　　夏季大会①参加全チームを複数（６～８）のブロックに分けて、それぞれブロックで総当りリ―グ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。

②リーグ戦の成績は勝ち点の最も多いチームを上位とする。ちなみに勝ち点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０とする。

③リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。それでも同じ場合は抽選で決定する。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

④全試合７回制で試合時間はシートノックを除き１時間３０分。７回に達しなくても試合は時間を優先する。**リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。**但し、**決勝大会は全試合コールドゲーム（４回以降７点差、）の適用がある。**

⑤７回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行わない。但し、決勝大会に限っては特別ルール（一死満塁で継続打者）を適用して勝敗を決める。なお、特別ルールの延長回は２回までとし、それでも決着がつかない場合は抽選で決定する。

⑥**投手の投球規定回数は一試合４回（１２アウト）、一日７回（２１ア**

ウト）までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

順位の決定　平成２６年度よりブロックリーグ戦の順位決定は勝率制を廃止し、勝点制に改める。勝点は上記した如く勝利が２点、引き分けが１点、敗戦０点とし、最も勝ち点の多い場合を上位とする。勝点が同じ場合は対戦勝者を上位とする。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決定する。決勝大会については、原則として役員が担当するが、後援団体及び出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時に、リーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２

小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。

試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。近年出場チームの多くが他の大会と掛け持ちのケースが増加していますので、ブロックリーグの日程消化は出来るだけ早め(抽選会後直ちに始めても可)にお願いします。**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は（０－１５）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明し徹底するようお願いします。**他大会と掛け持ちで大会の日程消化に支障を来たした場合も同様**とします。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞のみ。個人賞は原則としてないが、後援団体から申し出があったものは、この限りに非ず。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参して下さい。団旗の持込も歓迎します。

近年**他大会との重複による出場チーム**が増加していますが、その場合当該チームは**大会の日程消化に支障を来たさないように、とくに努力して下さい。**

上部大会とくに県大会と重複した場合は予め調整するが、その他の大会との重複の場合は当大会への出場を優先してください。出場出来なかった場合は不戦敗とします。

東葛地区親睦少年野球大会役員

（令和３年８月一部改選）

会長	山田晃一	流山	柏流さよなら少年野球大会会長
副会長	平田宗久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運営委員長・冬季大会会計兼務			流山少年野球連盟役員
副会長	加納貞夫	野田	野田市少年野球連盟役員
副会長	藤井豊務	柏	柏市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	流山	流山市少年野球連盟役員
事業副部長	八鍬昌次	流山	流山市少年野球連盟副会長
運営委員	松本秀樹	流山	江戸川台フェニツクス
運営委員	亀田成美	流山	流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	藤川真吾	野田	野田ドンキーズ
運営委員	内田欣也	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田	西新田子ども会
運営委員	池田進一	柏	柏市少年野球連盟役員
夏季大会会計兼務			
運営委員	柿崎稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏	松葉ニューセラミックス
運営委員	上村茂樹	柏	伊勢原ジャガーズ
運営委員	我妻和憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸	松戸市少年野球連盟役員
会計監査役兼務			



第46回大会収支明細

収入の部

大会参加費	@5000×41チーム	205,000
前回大会繰越金		31,087
収入合計		**¥236,087**

支出の部

大会賞品代	22,088
賞状代	10,000
ボール代（大会使用球・賞品など）	18,480
優勝旗フラグポール代	17,325
審判手当（準々決勝戦・準決勝戦　500×4×6）	12,000
審判・役員飲み物代（7月25日）	4,850
役員昼食代ほか諸掛（7月31日 1,000×15）	15,000
グランド使用料	3,780
抽選会場費および資料コピー代	1,770
大会冊子原稿作成費・送料	3,000
大会冊子データ作成代	40,000
前々回大会までの累積欠損補填（返済）	▲94,000
支出合計	**¥242,293**

※収入／236,087円－支出／242,293円＝▲4,436円　は、第47回大会へ繰り越します。

令和3年10月27日　会計担当 池田進一

第46回東葛地区親睦少年野球夏季大会に、関宿ライオンズクラブ様より
下記の協賛品を賜りましたことをご報告致します。

●優勝旗・カップ・トロフィ多数







Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX **04-7197-0115**

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUSBALL マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ